

パパ・ママ子育て知恵袋

第16回は「将来の夢」

「キャリア教育」が、このところ、いろいろなところで取り上げられています。簡単に言えば、将来の自分像に向けて、今何をするべきかを考えさせ、行動させるというものです。

で、最近、疑問に思うことがあります。

それは「**将来やりたい仕事を目指して、夢と希望をもって歩んでいこう！**」という教育のあり方です。

「なんだかリアリティーに欠けるなあ」と思っています。

「夢や希望」は大切です。そこに疑問はありません。

でも「**将来やりたい仕事を目指して**」に「？」マークがつきます。

私たち大人のほとんどが「描いていた人生とは異なる生き方」をしていませんか？

ある調査では 18 歳のときに考えていた職業に就いている人は、わずか2%だったそうです。「やりたい仕事がいっぱい浮かばない子」に「もっと夢をもて」と言うのは、「なんだか違うよなあ」とも感じてしまいます。

「好きなこと」を仕事にできている人の数も、そう多くはないでしょう。たまたま出会った仕事、ご縁のあった人たちと働く。そうする中で「**あれ、これかも。これでいいかも**」と思って、働いている人の方が多いのでは。私は自分が校長になるなんて考えてもいませんでしたが、ご縁があって今こうして働いています。考えてもいなかった仕事に生きがいも感じています。

世の中はどうなるかわからない。このことを私たちは今、痛いほど感じています。もっと「**ゆるく**」「**しなやか**」に物事を考えられる子供にしたいです。

3年後、10年後、20年後よりも「**今**」を生きることを大切にできる子供にしたいと思います。

「ゆるく」「しなやかに」は、どうなるかわからない世の中を少しでも前向きに生きるためのキーワードだと思っています。

子供が「こんなことしてみたい」「こんなふうになりたい」と言えたときに「そんなの無理」「無駄だ」「もっと現実を見ろ」とだけは言わない大人でありたいと思います。